

[フェイス・シート]

ご意見をお伺いするのは、これで終わりですが、統計的分析に必要なため、あなたご自身やあなたのご家族のことについてお尋ねします。

(注：F 1～F 18の単位は%)

F 1 あなたの性別をお知らせください。

	78年	81年	84年	87年	90年	93年	96年	99年	2002年
1 男性	44.6	43.5	44.9	50.5	48.7	49.3	47.4	49.5	50.0
2 女性	55.4	56.5	55.1	49.5	51.3	50.7	52.6	50.5	50.0

F 2 あなたの満年齢をご記入ください。

	78年	81年	84年	87年	90年	93年	96年	99年	2002年
1 15～19歳	7.2	7.0	7.1	8.6	8.8	8.2	7.5	5.5	6.8
2 20～24歳	7.2	6.5	5.2	6.0	} 13.3	6.7	7.4	5.9	5.7
3 25～29歳	11.1	9.0	8.7	8.1		6.9	7.9	7.3	7.3
4 30～34歳	11.9	13.9	11.6	9.4	} 18.4	10.1	8.5	8.2	8.5
5 35～39歳	11.9	10.7	10.9	12.5		8.4	8.7	8.0	8.3
6 40～44歳	10.3	10.0	10.4	10.0	} 21.6	12.1	9.7	9.1	8.9
7 45～49歳	} 19.5	19.8	9.7	9.9		10.1	13.0	11.3	8.2
8 50～54歳			10.0	9.4	} 20.0	10.2	8.6	10.8	11.2
9 55～59歳	} 12.8	13.9	9.4	9.4		8.5	8.2	10.0	9.3
10 60～64歳			6.8	7.4	14.0	8.6	8.3	9.6	9.8
11 65～69歳 (90年までは(「65歳以上」))	8.1	9.2	10.1	9.5	3.8	6.0	7.3	8.0	9.6
12 70歳以上						4.1	4.9	6.3	6.4

F 3 あなたの職業は次のどれにあたりますか。(は1つ)

	93年	96年	99年	2002年
1 事務職(一般事務・営業職など)	14.7	14.2	12.1	11.7
2 販売職(小売店主、販売店員、外交員など)	8.2	7.6	6.2	5.0
3 管理職(課長以上の公務員又は会社員、会社役員など)	7.0	6.3	6.1	6.4
4 専門的・技術的職業(教員、医師、技術者、作家など)	6.9	3.2	9.2	9.4
5 サービス職(理美容師、ウェ이터・ウェイトレス、タクシー運転手、 旅館主、保安関係従業員など)	6.0	9.6	8.0	7.5
6 現業職(大工、修理工、生産工程作業員など)	13.1	14.1	12.1	9.4
7 農林漁業	6.3	3.4	3.1	3.3
8 主婦・主夫(パートタイム従業者)	7.2	7.8	8.3	10.1
9 主婦・主夫(無職の)	15.4	16.3	18.2	17.3
10 学生	7.7	8.0	6.7	8.0
11 無職(主婦・主夫を除く)	7.3	9.5	9.4	9.7
12 その他	0.2	-	0.3	1.7

【F3で「1」～「7」をお答えの方にお聞きします】

F 3 - 付問1 あなたの勤務形態は次のどれにあたりますか。(は1つ)

	90年	93年	96年	99年	2002年
1 自営業主	20.0	19.6	17.2	18.3	17.5
2 家族従業者	15.7	11.2	11.0	9.0	8.5
3 勤め人(90年は「被備者」)	61.7	68.7	71.8	72.1	73.6

F 3 - 付問2 あなたは、現在の仕事に就かれて何年くらいになりますか。(は1つ)

	96年	99年	2002年
1 1年未満	5.8	5.9	6.7
2 1～5年未満	18.1	17.4	17.4
3 5～10年未満	15.8	15.3	15.0
4 10～20年未満	21.1	24.4	22.2
5 20～30年未満	20.9	18.5	18.5
6 30～40年未満	11.1	11.7	13.1
7 40年以上	4.8	5.6	6.9

F 3 - 付問3 あなたの勤め先の従業員数はおよそ何人くらいですか。本社・支社・支店・営業所・工場などすべてを含めたおよその人数をお答え下さい。また、官公庁にお勤めの方は「9 官公庁」とお答えください。(は1つ)

	96年	99年	2002年
1 1～5人	24.1	26.4	25.0
2 6～29人	18.3	17.0	17.5
3 30～99人	14.5	13.6	13.5
4 100～299人	9.0	11.2	12.5
5 300～499人	4.6	4.6	4.8
6 500～999人	3.8	4.5	5.1
7 1,000～4,999人	7.3	6.9	7.8
8 5,000人以上	6.1	7.2	6.5
9 官公庁	6.9	6.4	5.8

F 3 - 付問4 あなたのお仕事の業種は次のどれにあたりますか。(は1つ)

	96年	99年	2002年
1 農林漁業	6.1	5.6	6.5
2 鉱業	0.4	0.4	0.3
3 建設業	10.6	12.8	11.0
4 製造業	20.8	21.2	21.5
5 卸売業・小売業	14.5	13.0	12.2
6 金融・保険業	3.1	3.3	2.9
7 不動産業	0.7	1.1	1.0
8 運輸・通信業	5.3	5.0	7.0
9 電気・ガス・水道・熱供給業	2.0	2.4	2.3
10 サービス業	26.2	27.8	23.7
11 その他	8.7	5.5	11.1

[全員の方に]

F 4 あなたが最後に卒業された学校はこの中のどれにあたりますか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(は1つ)

(96年から最終学歴の分類を変更した)

	96年	99年	2002年
1 小中学校(尋常小学校、高等小学校等を含む)	20.0	19.1	16.6
2 高等学校(旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む)	48.8	46.0	48.1
3 専修学校、各種学校等	8.6	9.9	8.7
4 短期大学(高専等を含む)	7.3	8.5	7.5
5 大学(旧制高校、旧制高専学校等を含む)	14.3	14.7	17.5
6 大学院	0.4	0.9	0.9
7 その他	-	-	0.2

F 5 あなたは結婚してらっしゃいますか。(配偶者の方はご健在ですか。)(は1つ)

	78年	81年	84年	87年	90年	93年	96年	99年	2002年
1 未婚	18.0	16.7	16.1	20.7	20.4	21.0	23.0	20.8	22.2
2 既婚・配偶者有り (現在夫または妻がいる)	75.3	77.3	76.3	73.0	74.1	73.8	70.7	72.0	70.2
3 既婚・配偶者離死別 (夫または妻と離婚・死別して現在独身)	6.7	6.0	7.5	6.3	5.5	5.0	6.4	6.8	7.3

F 6 あなたご自身は、下に示されている1~10の立場のどれにあたりますか。2つ以上当てはまる場合は番号の大きいほうを選んでください。(は1つ)

	84年	87年	90年	93年	96年	99年	2002年
1 高校、予備校、短大、大学、大学院 などの生徒または学生	6.8	9.0	9.0	7.7	8.0	6.7	8.1
2 学校を卒業して就職または習い事や家事 手伝いをしている独身者(ただし40歳未満の方) (90年までは「ただし60歳未満の方」)	9.9	12.1	11.7	11.8	12.8	11.4	11.7
3 40~59歳の独身者				1.8	2.4	2.9	2.7
4 60歳以上の独身者	0.8	1.0	0.8	0.8	0.5	0.5	0.8
5 子のない夫婦	4.4	4.3	4.8	4.6	5.7	5.5	5.0
6 第一子(長男または長女)が小学校入学前の親	11.1	9.0	9.1	9.1	7.9	7.3	7.3
7 第一子が小学校または中学校の親	19.5	18.2	15.2	14.8	13.8	12.3	13.3
8 第一子が高校、大学、大学院などの親	10.3	11.2	11.4	11.5	9.9	9.1	8.3
9 就職または結婚した子どもを一人でも持つ親	14.2	12.8	14.8	13.9	13.0	15.9	14.5
10 すべての子どもが就職、または結婚した親	23.1	22.4	23.1	23.6	24.9	27.2	27.1

F 7 あなたはお子さんがいらっしゃいますか。何人いますか。(は1つ)

	96年	99年	2002年
1 1人	12.1	12.7	13.1
2 2人	38.7	39.3	40.3
3 3人	16.6	17.2	16.2
4 4人以上	2.7	3.2	2.3
5 いない	29.1	26.3	27.0

F 7 - 付問 【お子さんがいらっしゃる方に】一番下のお子さんはおいくつですか。ひとりしかお子さんがいない方はその子の年齢をお書きください。

	96年	99年	2002年
1 0~4歳	14.4	14.3	14.4
2 5~9歳	10.3	10.2	10.2
3 10~14歳	9.2	9.1	10.0
4 15~19歳	11.7	11.6	9.9
5 20歳以上	54.4	54.0	54.7

【現在、配偶者のいらっしゃる方のみF 8～10をお答えください。独身の方（配偶者との離・死別を含む）は、F 11へお進みください。】

F 8 あなたの配偶者の年齢をお知らせください。（ は1つ）

	96年	99年	2002年
1 15～19歳	0.0	-	0.0
2 20～24歳	1.0	0.8	0.8
3 25～29歳	5.7	4.8	3.4
4 30～34歳	8.8	7.5	8.2
5 35～39歳	11.2	9.9	10.6
6 40～44歳	12.6	10.2	10.3
7 45～49歳	14.2	13.8	10.3
8 50～54歳	11.0	13.4	14.4
9 55～59歳	11.4	11.5	12.0
10 60～64歳	11.0	11.4	11.3
11 65～69歳	6.8	9.1	10.4
12 70歳以上	5.8	7.0	8.0

F 9 あなたの配偶者の職業は次のどれにあたりますか。（ は1つ）

	96年	99年	2002年
1 事務職（一般事務・営業職など）	14.0	10.6	10.2
2 販売職（小売店主、販売店員、外交員など）	8.1	5.5	4.5
3 管理職（課長以上の公務員又は会社員、会社役員など）	9.5	8.9	8.0
4 専門的・技術的職業（教員、医師、技術者、作家など）	3.2	7.7	8.2
5 サービス職（理美容師、ウェ이터・ウェイトレス、タクシー運転手、 旅館主、保安関係従業員など）	8.2	7.0	6.5
6 現業職（大工、修理工、生産工程作業員など）	11.6	10.7	8.1
7 農林漁業	3.8	4.2	4.2
8 主婦・主夫（パートタイム従業者）	10.6	10.7	12.9
9 主婦・主夫（無職の）	19.5	23.0	27.0
10 学生	0.1	0.1	0.0
11 無職（主婦・主夫を除く）	10.9	10.3	8.9
12 その他	-	0.5	0.9

（ F 10へお進みください）

【付問1、付問2は、F 9で「1」～「7」をお答えの方にお聞きします】

F 9 - 付問1 配偶者の方の勤務形態は、次のどれにあたりますか。（ は1つ）

	96年	99年	2002年
1 自営業主	20.9	21.7	20.0
2 家族従業者	12.4	12.5	11.1
3 勤め人	66.7	64.6	68.6

F 9 - 付問2 配偶者の方のお仕事の業種は次のどれにあたりますか。（ は1つ）

	96年	99年	2002年
1 農林漁業	7.0	7.9	8.6
2 鉱業	0.8	0.5	0.5
3 建設業	11.2	13.1	11.4
4 製造業	18.2	20.7	18.4
5 卸売業・小売業	15.3	13.3	12.3
6 金融・保険業	3.6	3.5	2.9
7 不動産業	1.1	1.0	0.9
8 運輸・通信業	5.6	5.8	6.5
9 電気・ガス・水道・熱供給業	2.5	2.7	2.8
10 サービス業	24.8	23.3	23.3
11 その他	8.0	6.0	11.9

F10 あなたの配偶者が最後に卒業された学校は次のうちどれにあたりますか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(は1つ)

	96年	99年	2002年
1 小中学校(尋常小学校、高等小学校等を含む)	20.8	21.2	18.4
2 高等学校(旧制中学校、女学校、実業学校、師範学校を含む)	48.6	48.3	48.6
3 専修学校、各種学校等	5.6	7.0	7.4
4 短期大学(高専等を含む)	6.4	7.1	7.2
5 大学(旧制高校、旧制高専学校等を含む)	14.9	14.6	15.9
6 大学院	0.7	0.9	1.1
7 その他	-	0.0	0.0

[全員の方に]

F11 お宅のお住まいは次のどれにあたりますか。(は1つ)

	78年	81年	84年	87年	90年	93年	96年	99年	2002年
1 持家(1戸建て)	70.9	72.3	72.9	74.5	77.5	78.6	70.6	70.3	72.4
2 持家(集合住宅)	(90、93年は「家族の持家に同居」を含む)						3.5	5.6	7.1
3 民間の借家 (一戸建て、集合住宅)	14.9	14.6	13.4	11.5	11.2	11.9	13.1	12.5	11.1
4 給与住宅 (社宅、公務員住宅)	4.8	3.6	4.1	4.2	2.6	2.9	2.2	3.3	2.5
5 公営の借家(住宅公園、 住宅供給公社、県営住宅など)	5.6	6.4	8.5	7.4	6.8	5.3	9.4	5.7	4.8
6 借間、下宿	1.9	1.2	0.8	1.6	1.0	0.7	1.0	1.2	1.0
7 住み込み、寄宿舎、独身寮など	1.4	1.3	0.2	0.8	0.3	0.5	0.3	0.5	0.2
8 その他	0.6	0.8	0.1	0.1	0.5	0.0	-	0.3	0.6

F12 いま一緒に暮らしているご家族の家族形態は、次のどれにあたりますか。(は1つ)

	78年	81年	84年	87年	90年	93年	96年	99年	2002年
1 単身	5.2	4.9	4.4	4.7	3.0	3.7	4.8	6.1	4.6
2 夫婦だけ	10.4	11.6	12.4	11.8	13.7	14.7	16.1	18.1	17.9
3 夫婦と子ども	49.1	49.8	48.5	46.9	48.6	47.7	48.0	44.8	44.3
4 夫婦と子どもと親	20.4	19.4	20.5	25.7	22.7	25.0	20.3	18.4	17.2
5 夫婦と子どもと親と夫婦の兄弟姉妹	2.4	1.8	1.7	2.4	1.8	2.1	1.7	1.4	1.4
6 それ以外	12.5	12.4	12.5	8.6	9.7	6.2	8.1	10.5	14.2

[F3でご自分の職業が「1 事務職」～「8 主婦・主夫(パートタイム従業者)」とお答えの方に]

F13 現在、働いている方にお尋ねします(専業主婦や学生などの方は除きます)。あなたご自身の年間収入は、ボーナスを含めた税込みでおよそどのくらいですか。(は1つ)

	96年	99年	2002年
1 100万円未満	13.5	13.9	16.1
2 100～200万円未満	13.9	13.2	13.2
3 200～400万円未満	23.1	26.4	25.1
4 400～600万円未満	15.7	17.2	15.4
5 600～800万円未満	8.3	9.4	9.5
6 800～1,000万円未満	4.5	4.7	4.7
7 1,000～1,200万円未満	1.1	1.8	1.4
8 1,200～1,400万円未満	0.5	0.8	0.4
9 1,400万円以上	1.1	1.0	0.7

[F9で配偶者の方の職業が「1 事務職」～「8 主婦・主夫(パートタイム従業者)」とお答えの方に]

F 14 現在、あなたの配偶者が働いている方にお尋ねします。あなたの配偶者の年間収入は、ボーナスを含めた税込でおよそどのくらいですか。(は1つ)

	96年	99年	2002年
1 100万円未満	14.6	16.4	18.8
2 100～200万円未満	10.2	10.2	11.5
3 200～400万円未満	19.6	19.5	18.4
4 400～600万円未満	18.2	17.8	16.9
5 600～800万円未満	10.6	11.5	10.5
6 800～1,000万円未満	4.8	6.2	5.7
7 1,000～1,200万円未満	2.0	2.9	1.5
8 1,200～1,400万円未満	0.4	0.7	0.9
9 1,400万円以上	1.5	1.5	1.0

[全員の方に]

F 15 では、お宅の世帯全体の年間収入は、ボーナスを含めた税込でおよそどのくらいですか。学生の方はご実家の収入をお答えください。(は1つ)

	96年	99年	2002年
1 200万円未満	5.7	6.0	7.2
2 200～400万円未満	16.7	18.6	19.4
3 400～600万円未満	22.6	20.6	19.7
4 600～800万円未満	19.2	15.7	16.3
5 800～1,000万円未満	12.3	12.0	10.5
6 1,000～1,200万円未満	6.0	7.0	4.5
7 1,200～1,400万円未満	3.4	3.3	2.8
8 1,400万円以上	4.8	5.3	3.6

F 16 お宅で所有なさっている住宅、土地などの資産はおよそどれくらいになりますか。(現在の評価額とします。)(は1つ)

	99年	2002年
1 所有していない	19.6	18.8
2 500万円未満	6.9	5.9
3 500～1,000万円未満	8.9	9.0
4 1,000～1,500万円未満	8.2	8.6
5 1,500～2,000万円未満	9.4	10.6
6 2,000～3,000万円未満	12.7	12.3
7 3,000～4,000万円未満	7.1	6.1
8 4,000～5,000万円未満	5.0	3.9
9 5,000～1億円未満	5.1	3.5
10 1億円以上	2.4	1.9

F 17 お宅の世帯全体の貯蓄現在高はどれくらいになりますか。(は1つ)

	99年	2002年
1 250万円未満	33.2	32.4
2 250～500万円未満	15.7	13.2
3 500～750万円未満	7.5	7.4
4 750～1,000万円未満	7.7	7.3
5 1,000～1,500万円未満	7.4	6.5
6 1,500～2,000万円未満	4.0	3.4
7 2,000～3,000万円未満	3.3	3.1
8 3,000万円以上	5.4	4.1

F 18 お宅の世帯全体の借入金残高はどれくらいになりますか。(は1つ)

	99年	2002年
1 ない	46.6	41.4
2 250万円未満	13.0	11.6
3 250～500万円未満	6.4	4.8
4 500～750万円未満	3.2	3.0
5 750～1,000万円未満	3.9	3.8
6 1,000～1,500万円未満	4.7	5.1
7 1,500～2,000万円未満	4.0	4.7
8 2,000～3,000万円未満	3.9	5.0
9 3,000万円以上	2.9	3.9

VI 参考資料

1. 国民生活選好度調査の沿革

国民生活選好度調査は、1971年度の予備調査を経て、72年度に「国民選好度調査」として実施したのが最初である。これは、「経済社会基本計画」（73年2月閣議決定）の策定に際し、高度経済成長下での国民の意識や欲求を把握することを目的として実施したものである。

その後、第一次石油危機以降の景気停滞の中で国民の意識や欲求の変化を把握するため、75年度に第2回「国民生活選好度調査」を実施した。この調査は、72年度の国民選好度調査の基本的フレームを受け継ぎながら、より詳細な生活ニーズの把握と、幸福感や不安という新たな視点の導入による、人々の意識構造の分析をねらいとした。

第3回国民生活選好度調査（78年度）は、過去2回の調査の経験を踏まえ、これらとの継続性を考慮しながら実施したものである。この調査では、第4回以降の調査の基本となる標準パターンを確立するとともに、人々の暮らしを客観的に示す社会指標との関連にも配慮した内容にした。

第4回国民生活選好度調査（81年度）はフェーズⅠとフェーズⅡに分けて実施した。フェーズⅠ調査は第3回調査で確立した標準パターンを採用し調査の継続性に重点を置いたのに対し、フェーズⅡ調査は満足を規定する要因や幸福感と関連が強い要因について分析するため、フェーズⅠ調査の満足度などについてより詳細に調査した。

ここまでの調査の経験から、国民生活政策の立案にあたっての基礎資料としては、国民の意識・ニーズの時系列変化の把握を主眼とする調査とともに、それを補完し、国民生活上の重点問題や国民の選好を規定する意識構造をより深く掘り下げることが主眼とした調査も不可欠であることが明らかとなった。このため、84年度から国民生活選好度調査を3年を1周期として毎年度実施することとし、各周期の初年度を時系列変化把握のための調査に、つづく2年度、3年度を重点問題ないし意識構造分析のための調査に、それぞれ充てることとした。

第5回国民生活選好度調査（84～86年度）においては、まず、84年度は3年周期の第1年目として、調査の継続性に重点を置き、第4回調査のフェーズⅠ調査とほぼ同様の調査を行い、第2年目の85年度の調査は「長寿社会へ向けての生活選択」を、第3

年目の 86 年度の調査は「国際化と国民意識」をテーマとして取り上げ、意識構造の分析を行った。

第 6 回国民生活選好度調査（87～89 年度）においては、87 年度に 3 年に 1 度の時系列調査を、88 年度に「格差に対する国民の意識」、89 年度に「自由時間に対する国民の意識」をテーマとした調査を行った。

第 7 回国民生活選好度調査（90～92 年度）においては、90 年度に時系列調査を、91 年度に「東京圏への一極集中問題」、92 年度に「少子化の背景と国民意識」をテーマとした調査を行った。

第 8 回国民生活選好度調査（93～95 年度）においては、93 年度に時系列調査を、94 年度に「高齢化社会に対する国民の意識」、95 年度に「豊かな社会の国民意識」をテーマとした調査を行った。

第 9 回国民生活選好度調査（96～98 年度）においては、96 年度に時系列調査を、97 年度に「女性のライフスタイルをめぐる国民意識」、98 年度に「生活のなかのゆとりと安心」をテーマとした調査を行った。

第 10 回国民生活選好度調査（98～2001 年度）においては、99 年度に時系列調査を、2000 年度に「ボランティアと国民生活」をテーマとした調査を行った。01 年度に「家族と生活に関する国民意識」をテーマとした調査を行った。

第 11 回国民生活選好度調査においては、2002 年度に時系列調査を行った。

2. 図の基礎資料

(第1-1図) 重要度の高い「医療と保健」、「収入と消費生活」、近年高まっている「勤労生活」

(1) 最も重要であると評価した領域の割合 (回答者割合：%)

年	医療と保健	教育と文化	勤労生活	休暇と余暇生活	収入と消費生活	生活環境	安全と個人の保護	家族	地域生活	公正と生活保障
1981	35.3	5.6	6.6	1.5	24.8	4.1	2.5	12.9	0.4	3.3
84	39.0	6.5	5.9	1.4	18.9	4.2	2.5	14.5	0.8	4.3
87	40.2	4.1	10.5	1.6	20.8	3.6	1.8	13.9	0.3	3.3
90	39.2	3.7	6.1	2.6	23.1	5.4	2.6	12.5	0.3	3.6
93	34.9	3.7	6.7	2.8	25.0	4.7	2.3	14.8	0.2	4.1
96	33.1	3.4	8.5	2.5	20.4	4.6	4.1	18.6	0.3	4.4
99	34.4	3.4	11.0	1.7	21.4	3.7	3.1	16.5	0.2	3.0
2002	32.6	4.2	14.1	1.1	24.7	2.1	4.5	12.7	0.3	3.1

(2) 上位3位以内に評価した領域の割合 (回答者割合：%)

年	医療と保健	教育と文化	勤労生活	休暇と余暇生活	収入と消費生活	生活環境	安全と個人の保護	家族	地域生活	公正と生活保障
1981	68.7	27.4	28.9	10.0	62.0	23.1	13.6	34.8	3.9	13.5
84	71.5	26.5	22.4	10.2	55.9	23.6	13.1	38.3	6.7	20.4
87	71.5	22.4	31.6	14.3	58.7	22.6	11.8	41.2	5.1	20.3
90	69.9	23.4	25.4	17.1	58.6	25.7	15.1	33.6	6.0	19.2
93	66.6	19.4	24.4	18.6	58.2	26.9	13.9	39.3	6.3	22.0
96	63.6	20.6	26.6	19.2	53.7	23.2	19.0	39.6	7.8	20.2
99	65.4	20.0	32.3	14.7	55.5	25.5	17.2	38.4	6.8	18.7
2002	65.6	22.0	35.9	14.5	58.3	18.1	24.2	33.1	6.8	18.3

(第1-2図) 政策優先度の高い「医療と保健」、「収入と消費生活」、近年高まっている「勤労生活」

(1) 最も力を入れてほしいとした領域の割合 (回答者割合：%)

年	医療と保健	教育と文化	勤労生活	休暇と余暇生活	収入と消費生活	生活環境	安全と個人の保護	家族	地域生活	公正と生活保障
1981	34.4	8.0	6.4	1.5	25.0	6.1	3.5	2.8	1.1	7.4
84	35.6	10.5	6.5	1.7	18.8	7.0	4.3	1.3	1.2	10.1
87	40.1	5.3	10.3	1.7	22.8	6.4	3.0	2.3	0.4	7.7
90	40.5	4.7	6.5	2.4	22.7	8.6	4.1	2.4	0.5	7.0
93	36.9	5.0	6.7	2.5	23.9	9.4	3.9	3.3	0.3	7.4
96	34.2	4.2	10.1	2.4	22.1	7.5	7.1	3.4	0.4	8.4
99	34.9	4.4	13.7	1.3	22.0	7.5	5.4	2.9	0.4	5.5
2002	32.7	5.4	15.9	1.0	25.0	3.5	8.6	2.3	0.4	4.7

(2) 上位3位以内に評価した領域の割合 (回答者割合：%)

年	医療と保健	教育と文化	勤労生活	休暇と余暇生活	収入と消費生活	生活環境	安全と個人の保護	家族	地域生活	公正と生活保障
1981	69.0	32.8	27.5	9.2	57.6	27.7	15.9	12.4	7.0	23.3
84	66.7	34.0	24.2	8.1	49.2	30.1	19.6	9.8	9.2	33.5
87	69.7	28.6	33.1	13.0	58.3	29.7	15.8	12.5	6.1	32.1
90	71.0	25.2	25.1	16.5	55.0	32.0	18.2	13.4	7.6	29.8
93	67.8	22.8	24.9	15.9	54.4	34.8	19.7	14.9	7.9	32.0
96	64.1	23.8	31.4	16.4	49.6	31.3	25.0	13.8	8.1	29.3
99	66.8	22.6	35.5	12.4	52.1	34.3	23.2	13.0	7.5	26.7
2002	65.7	24.2	40.1	12.6	56.8	22.8	31.4	12.0	7.7	23.3

(第1-3図) 「家族」を除き、重要度が高いと政策優先度も高い

(回答者割合：%)

年	医療と保健		教育と文化		勤労生活		休暇と余暇生活		収入と消費生活	
	重要度	政策優先度	重要度	政策優先度	重要度	政策優先度	重要度	政策優先度	重要度	政策優先度
1981	35.3	34.4	5.6	8.0	6.6	6.4	1.5	1.5	24.8	25.0
84	39.0	35.6	6.5	10.5	5.9	6.5	1.4	1.7	18.9	18.8
87	40.2	40.1	4.1	5.3	10.5	10.3	1.6	1.7	20.8	22.8
90	39.2	40.5	3.7	4.7	6.1	6.5	2.6	2.4	23.1	22.7
93	34.9	36.9	3.7	5.0	6.7	6.7	2.8	2.5	25.0	23.9
96	33.1	34.2	3.4	4.2	8.5	10.1	2.5	2.4	20.4	22.1
99	34.4	34.9	3.4	4.4	11.0	13.7	1.7	1.3	21.4	22.0
2002	32.6	32.7	4.2	5.4	14.1	15.9	1.1	1.0	24.7	25.0

年	生活環境		安全と個人の保護		家族		地域生活		公正と生活保障	
	重要度	政策優先度	重要度	政策優先度	重要度	政策優先度	重要度	政策優先度	重要度	政策優先度
1981	4.1	6.1	2.5	3.5	12.9	2.8	0.4	1.1	3.3	7.4
84	4.2	7.0	2.5	4.3	14.5	1.3	0.8	1.2	4.3	10.1
87	3.6	6.4	1.8	3.0	13.9	2.3	0.3	0.4	3.3	7.7
90	5.4	8.6	2.6	4.1	12.5	2.4	0.3	0.5	3.6	7.0
93	4.7	9.4	2.3	3.9	14.8	3.3	0.2	0.3	4.1	7.4
96	4.6	7.5	4.1	7.1	18.6	3.4	0.3	0.4	4.4	8.4
99	3.7	7.5	3.1	5.4	16.5	2.9	0.2	0.4	3.0	5.5
2002	2.1	3.5	4.5	8.6	12.7	2.3	0.3	0.4	3.1	4.7

(第1-5図) 「医療と保健」「収入と消費生活」に関する項目では、重要度が高まる一方、充足度は低下している

「医療と保健」に関する項目 (得点)

		1981年	90年	2002年
適切な診断や治療が受けられること	重要度	4.15	4.34	4.34
	充足度	3.63	3.31	3.30
費用の心配をあまりせずに診療が受けられること	重要度	4.13	4.27	4.36
	充足度	3.45	3.17	2.95
病気の予防や健康の相談・指導が容易に受けられること	重要度	4.03	4.14	4.10
	充足度	3.35	3.10	3.01

「収入と消費生活」に関する項目 (得点)

		1981年	90年	2002年
食品や薬品など商品の安全性が高いこと	重要度	4.36	4.49	4.54
	充足度	2.85	2.74	2.47
商品への不満や苦情について相談できるところがあること	重要度	3.80	3.83	3.95
	充足度	2.66	2.59	2.58

(第1-6図) 医療については「費用の心配のない診療」、消費生活については「商品の安全性」において、「満たされていない」割合は大きく上昇している

「医療と保健」に関する項目 (回答者割合：%)

		81年	90年	2002年
適切な診断や治療が受けられること	満たされている	62.3	44.4	40.6
	満たされていない	15.2	18.9	15.1
費用の心配をあまりせずに診療が受けられること	満たされている	52.1	39.2	27.1
	満たされていない	20.3	26.5	31.5
病気の予防や健康の相談・指導が容易に受けられること	満たされている	46.8	35.0	27.0
	満たされていない	21.0	26.5	25.9

「収入と消費生活」に関する項目 (回答者割合：%)

		81年	90年	2002年
食品や薬品など商品の安全性が高いこと	満たされている	21.0	17.8	9.2
	満たされていない	33.5	36.7	49.2
商品への不満や苦情について相談できるところがあること	満たされている	13.7	12.2	8.7
	満たされていない	39.1	42.3	40.4

(第1-7図) 「失業の不安がなく働けること」「やりがいのある仕事や自分に適した仕事ができること」等については重要度が高まる一方で充足度が低下

(得点)

		1981年	90年	2002年
失業の不安がなく働けること	重要度	4.07	4.22	4.38
	充足度	3.17	2.93	2.38
やりがいのある仕事や自分に適した仕事ができること	重要度	4.06	4.18	4.22
	充足度	3.01	2.74	2.57
職業紹介や職業訓練のための施設や内容が充実していること	重要度	3.64	3.84	3.95
	充足度	2.77	2.64	2.51
希望する職業への転職が容易なこと	重要度	3.49	3.70	3.86
	充足度	2.57	2.52	2.29

(第1-11図) 60代、70代で高い生活全般の満足度

(%)

		1996年	99年	2002年
男性	10代	44.1	33.1	41.9
	20代	41.2	38.9	35.1
	30代	36.4	36.8	38.0
	40代	43.6	40.0	38.8
	50代	45.7	44.5	35.1
	60代	56.3	49.2	44.7
	70代	59.4	52.5	45.4
女性	10代	52.4	36.4	43.8
	20代	45.3	44.2	40.5
	30代	44.7	45.2	41.1
	40代	46.0	41.3	39.4
	50代	47.7	46.9	41.4
	60代	59.2	52.2	49.6
	70代	67.0	56.1	52.4

(「満足している」+「まあ満足している」と回答した人の割合。)